

# JMS NOTES



「人と医療のあいだに……」

第48期 第2四半期事業のご報告

平成24年4月1日～平成24年9月30日

**JMS**  
証券コード 7702

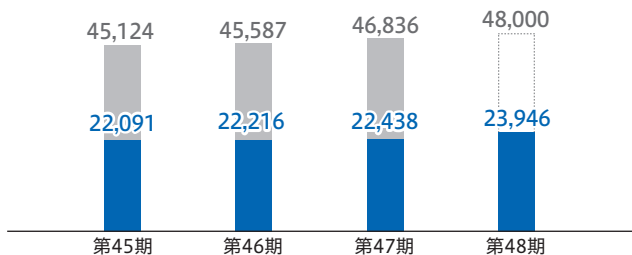
# 連結財務ハイライト 第48期 第2四半期業績(累計)

## 売上高

(百万円)

239億46百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想

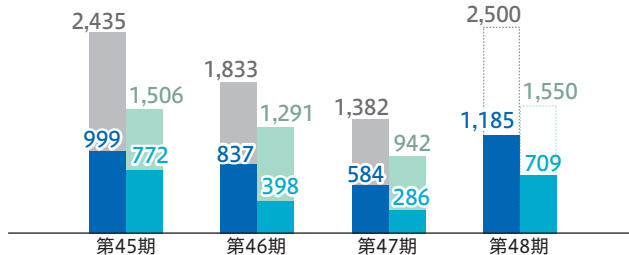


## 経常利益 当期(第2四半期)純利益

(百万円)

11億85百万円  
7億9百万円

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想  
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想

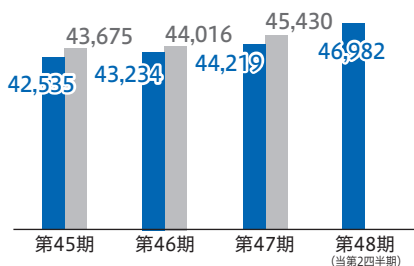


## 総資産

(百万円)

469億82百万円

■ 第2四半期 ■ 通期

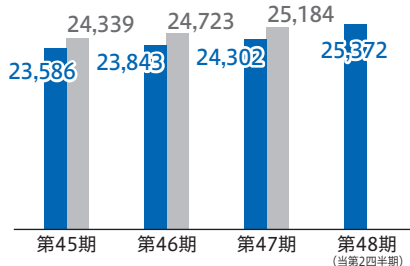


## 純資産

(百万円)

253億72百万円

■ 第2四半期 ■ 通期

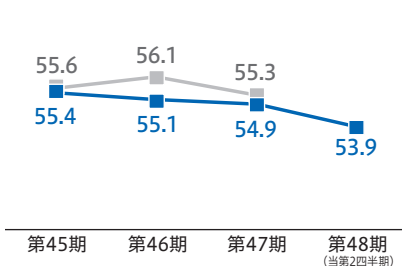


## 自己資本比率

(%)

53.9%

■ 第2四半期 ■ 通期

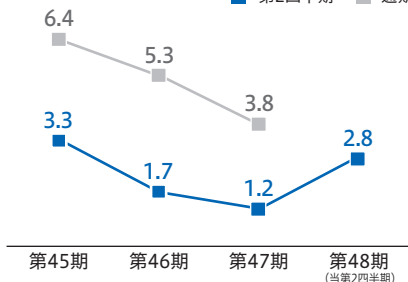


## 自己資本当期(第2四半期)純利益率

(%)

2.8%

■ 第2四半期 ■ 通期

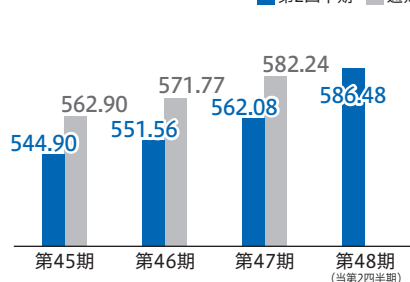


## 1株当たり純資産

(円)

586円48銭

■ 第2四半期 ■ 通期

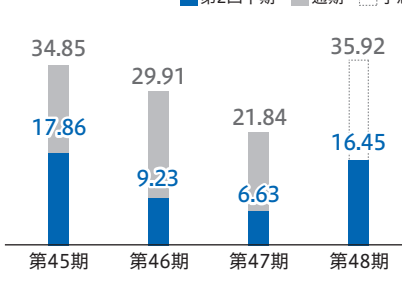


## 1株当たり当期(第2四半期)純利益

(円)

16円45銭

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



### 見通しに関する注意事項

上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第48期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。



当社グループの業績につきましては、国内においては、血液透析装置や人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長しました。また、海外においては、米国向けの成分献血用回路及び誤穿刺防止機構付翼状針の販売が好調に推移したほか、中国及びドイツ国内向けのAVF針(血液透析用針)の販売が引き続き伸長しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ15億8百万円増加の239億46百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

利益につきましては、増収による利益増加が人件費等の固定費を吸収したことに加え、在外子会社において為替が有利に作用したため、営業利益は9億94百万円(前年同四半期比139.9%増)となりました。また、持分法による投資利益を計上したことにより、経常利益は11億85百万円(前年同四半期比102.9%増)となり、税金費用等を差し引いた結果、四半期純利益は7億9百万円(前年同四半期比148.1%増)となりました。

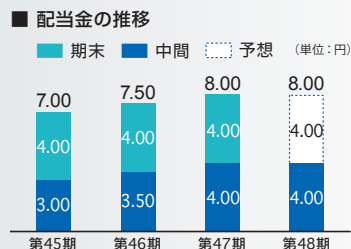
中間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。

2012年 12月  
代表取締役社長  
奥窪 宏章

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心とした医療市場が拡大する中で、現地及び各国メーカーによる競争が激化しております。また、国内においては、平成24年4月に診療報酬と介護報酬が同時に改定され、医療機器・材料に関する償還価格が大幅に引き下げられる等、引き続き厳しさが増しておりますが、本格化する高齢社会に対応する医療機器や多様なサービスの提供が求められる等、新たな市場も現れつつあります。

このような環境において、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、これからも医療従事者の皆様の負担軽減や患者様の安心にお応えし、医療環境における安全と効率化に貢献する製品を提供してまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



》》》 所在地別

日本

売上高 **197億37百万円**

(外部顧客への売上高 173億89百万円)



2011.9 2012.9

血液透析装置や人工腎臓用血液回路の販売が引き続き伸長しました。

東南アジア

売上高 **69億16百万円**

(外部顧客への売上高 31億27百万円)



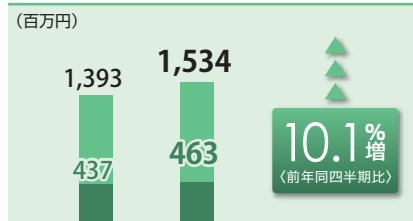
2011.9 2012.9

米国向けの成分献血用回路や日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移しました。

中国

売上高 **15億34百万円**

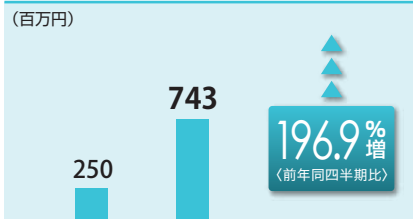
(外部顧客への売上高 4億63百万円)



2011.9 2012.9

日本向けの輸液セットや中国国内向けのAVF針の販売が引き続き堅調に推移しました。

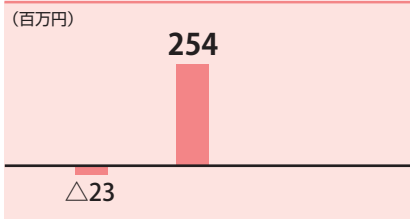
セグメント利益 **7億43百万円**



2011.9 2012.9

増収効果により大幅に増加しました。

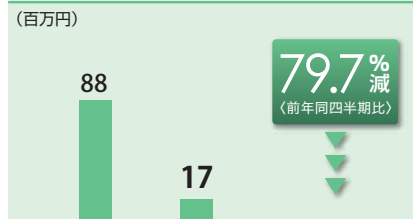
セグメント利益 **2億54百万円**



2011.9 2012.9

増収に加え為替が有利に作用したため黒字となりました。

セグメント利益 **17百万円**



2011.9 2012.9

労務費及び製造経費の上昇などにより減少しました。

製品紹介

血液透析装置「GC-110N」

血液透析を安全かつ効率的に行うための装置です。人工腎臓用血液回路内などの洗浄や血液の脱血/返血など、透析時の複雑な機械操作の大部分を自動化することで、医療の効率化と誤操作防止に貢献します。



人工腎臓用血液回路

血液透析を行う際、体外へ取り出した血液を、血液透析装置を用いて循環させるためのチューブです。

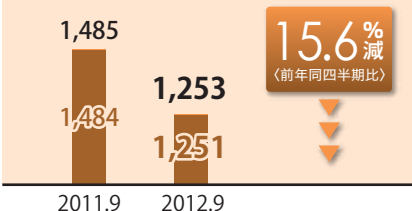


## ドイツ

売上高 **12億53百万円**

(外部顧客への売上高 12億51百万円)

(百万円)

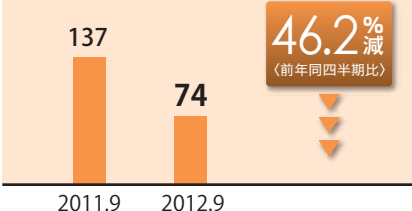


ドイツ国内向けのAVF針の販売は引き続き伸長したものの、透析用チェアーの販売が減少しました。

セグメント利益

**74百万円**

(百万円)



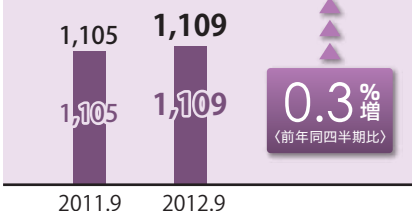
ユーロ安に伴う仕入価格の上昇により減少しました。

## アメリカ

売上高 **11億9百万円**

(外部顧客への売上高 11億9百万円)

(百万円)

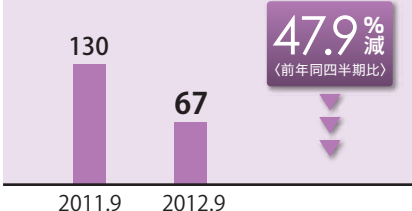


北米向けのAVF針の販売が低調に推移したものの、誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加しました。

セグメント利益

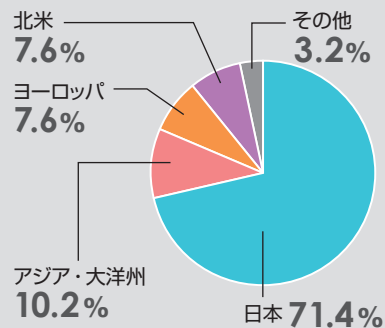
**67百万円**

(百万円)

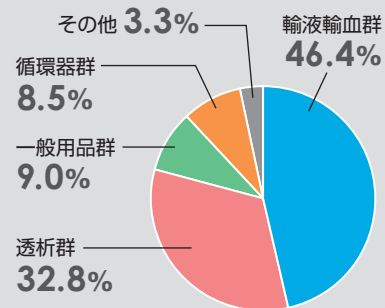


市場価格の低下の影響を受けたため減少しました。

### 地域別売上高構成比



### 部門別売上高構成比



#### 輸液輸血群

輸液セット、経腸栄養システム製品、成分献血用回路、シリンジ(注射筒)、注射針 他

#### 透析群

血液透析装置、人工腎臓用血液回路、AVF針、プレフィルドシリンジ製剤、腹膜透析液 他

#### 一般用品群

医療用手袋、不織布製品 他

#### 循環器群

膜型人工肺、ペースメーカー、人工心臓装置、人工心臓回路、血管造影・治療用カテーテル 他

### AVF針(血液透析用針)

血液透析を行う際に、シャント(動脈と静脈を接合した部位)から血液を体外へ取り出すための針です。



### 誤穿刺防止機構付翼状針

静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。



## もっとやさしい、安全・安心な輸液療法へ

少子高齢化社会を背景に、さまざまな医療環境に対応できる、より安全・安心な医療サービスが求められています。当社では、輸液療法のさらなる進化を目指して針刺し事故防止静脈留置カテーテル「セーフウイングキャス」を開発しました。

### 生命を維持・管理する輸液療法

輸液療法とは、疾病や手術、外傷など何らかの理由で口から水分や栄養をとれない患者様に、静脈を通じて輸液剤(水分、ナトリウム、カリウムなどの電解質、栄養素を含む溶液)を直接投与する治療法です。

輸液療法の目的は、主に以下のことがあげられます。

- ◎生命維持に必要な体液(水分、電解質など)の管理
- ◎体力を回復・維持するための栄養補給
- ◎抗生剤や抗がん剤などの薬剤投与

### 新製品

## 針刺し事故防止静脈留置カテーテル「セーフウイングキャス」

### ▶▶▶ 翼状針と静脈留置カテーテルの特長を取り入れて開発

「セーフウイングキャス」は、継続的に輸液治療を要する患者様に用いる、静脈留置カテーテルと呼ばれる医療機器です。

輸液療法には、輸液ラインにつながる翼状針を患者様の血管に刺して固定し輸液する方法と、血管内にポリウレタンなどの柔らかい素材の静脈留置カテーテルを留置しておき、そのカテーテルを通じて輸液する方法があります。「セーフウイングキャス」には、双方の長所が生かされています。

	長 所
翼 状 針	容易な手技で血管に挿入しやすく、患者様の皮膚に固定しやすい
静 脈 留 置 カテーテル	カテーテルの素材が柔らかく、血管の損傷や薬液漏れが起こりにくい



## よりよい医療環境を目指し、「閉鎖構造の輸液ライン」を開発

患者様の負担を軽減し、医療従事者の皆様の輸液療法に伴うリスクを解消するため、金属針や血液に触れることなく「閉鎖構造の輸液ライン」を保つ「セーフウィングキャス」を開発しました。これにより、抜き取った金属針による針刺しや血液漏れに伴う血液感染といった医療事故を防止でき、患者様と医療従事者の皆様の双方にとって、安全・安心な医療環境を実現することができます。

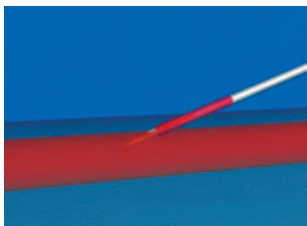
これまでの  
静脈留置カテーテルの  
リスク

- ・抜き取った金属針による針刺し事故
- ・血液漏れや血液への接触による感染
- ・静脈留置カテーテル固定時の皮膚への負担

### ■ 安全・安心な輸液ラインと「セーフウィングキャス」の特長



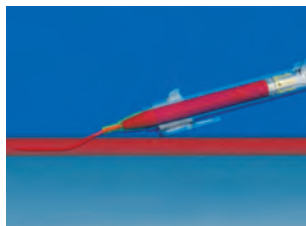
#### 「セーフウィングキャス」の主な特長



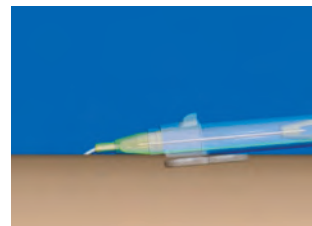
容易な手技で、金属針に触れることなく穿刺



金属針を本体内に安全に収納でき、針刺しリスクを低減



閉鎖構造で、血液漏れや血液接触による感染リスクの低減



フラットな形状で、皮膚にやさしく容易に固定

### 医療の現場から発想し、広く人と社会に貢献します

当社は、針刺し事故防止静脈留置カテーテル「セーフウィングキャス」を「感染・医療事故の防止」「医療の効率化と患者様のQOLの向上」に寄与できる製品として開発しました。より良い医療環境の創造を

目指し、患者様一人ひとりを見つめ、医療従事者の皆様の立場に立って、常に医療の現場から発想する。それを原点として、人と医療の間に立って、命を大切に、広く人と社会に貢献してまいります。

## 生産の効率化と進化を目指し、新たな取り組みを進めています。

### ▶ 電子線滅菌工場を建設

当社は本年10月、千代田工場敷地内において、新たな電子線滅菌工場の建設に着手しました(2014年3月竣工予定)。

電子線滅菌法とは、電子線を照射して微生物を殺滅する方法で、他の滅菌方法と比べて滅菌に必要な時間が短いことが大きな特徴です。

これにより生産コストの低減、在庫の削減、製品供給のスピードアップなどを実現し、これまで以上に安全・安心で品質の高い製品を迅速にお客様にお届けしてまいります。



電子線滅菌工場完成予想図

新工場  
概要  
(予定)

建築面積 / 2,127.80㎡  
延床面積 / 2,126.30㎡  
投資額 / 約11億円  
着工時期 / 2012年10月  
竣工時期 / 2014年3月

さらに

生産コストの低減

生産リードタイムの短縮

これからも

生産効率の向上

技術革新

お客様へ

安全・安心





# 地域や人々とともに、次代を見据えた活動を行っています。

## ▶ 千代田工場が、安全衛生に係る優良事業場「広島労働局長 奨励賞」を受賞

本年7月3日(火)、広島合同庁舎において、安全衛生に係る優良事業場として当社千代田工場が「広島労働局長 奨励賞」を受賞しました。同工場では、2007年1月から無災害を継続していることに加え、同時に従業員の安全と健康の維持を目的として、安全衛生への対策を徹底させるなど、その取り組みが高く評価されたものです。



千代田工場



工場内風景



表彰風景

### 千代田工場の取り組み その1

#### 「全員参加型」の取り組み

##### プログラム - ①

「労働安全衛生方針」を策定し、その徹底を図っています。「労働安全衛生方針」には、健康で快適に働ける職場環境づくり、全員参加の安全衛生活動、メンタルヘルスケア、リスクアセスメントの推進などを掲げています。

##### プログラム - ②

安全衛生委員会のもとに5つの活動班を設け、日々、全員で安全衛生活動を行っています。

- ① 自衛消防活動班
- ② ヒヤリハット集計班
- ③ 交通安全活動班
- ④ 安全パトロール班
- ⑤ 安全衛生活動に関する教育と啓発班

### 千代田工場の取り組み その2

#### 「メンタルヘルスケア」の取り組み

厚生労働省の指針である「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を基に、『心の健康づくり計画』を策定し、従業員のメンタルヘルスケアの推進に取り組んでいます。

「広島労働局長 奨励賞」とは？

無災害の期間が特に優れ、職場のリスク低減への取り組みが活発に行われるなど、長年にわたって地域における安全衛生活動の向上発展に指導的立場で取り組み、多大な貢献をなした事業場や功労者に対する表彰です。

# 明日につながる事業を展開し、地域を支援していきます。

## ▶「個人投資家向けIR説明会 in 名古屋」を開催

本年9月10日(月)、「個人投資家向けIR説明会」を開催しました。同会では、名古屋地域の個人投資家の皆様にご参加いただき、当社の株式や経営状況に関する説明を行いました。



SMBC日興証券名古屋駅前支店にて

## ▶「3rd TERMIS World Congress 2012」に出展

本年9月5日～8日、オーストリア・ウィーンにおいて「3rd TERMIS World Congress 2012(第3回国際組織再生工学・再生医療会議)」が開催され、当社も企業展示ブースを開設し、血清採取バッグ「セルエイド」を展示しました。



JMSブースの展示風景

## ▶ 地域貢献事業



「平和のどっかい絵」の展示風景

### 第14回 みて!みて!平和のどっかい絵

本年度も、地元小学生が平和について描いた絵を展示する、(社)広島青年会議所主催の「第14回みて!みて!平和のどっかい絵」事業(8月1日～8月21日開催)に協賛しました。



被爆アオギリ(平和記念公園/広島市中区)

### 緑の伝言プロジェクト

被爆樹木の種と平和メッセージを世界中に届ける「緑の伝言プロジェクト」の支援活動に引き続き取り組んでまいります。



出雲大社周辺を主会場に島根県各地で開催

### 神話博しまね

古事記編纂1300年を記念して、豊かな自然や歴史文化などが今も残る島根県の魅力を全国に情報発信する「神話博しまね」(7月21日～11月11日開催)に協賛しました。



出雲ドームでの演奏風景

### 第21回出雲ドーム2000人の吹奏楽

山陰のマーチングバンドや吹奏楽部が出演する、音楽を通じて地域文化の振興・発展を図る「第21回出雲ドーム2000人の吹奏楽」(9月8日開催)に協賛しました。



## JMSの新しいホームページをご紹介します。

当社は、「患者様第一主義」を企業理念として掲げ、今日まで事業を展開してまいりました。

そうして築き上げた当社の企業価値と優位性を、これまで以上に多くのお客様にご紹介するために、この度、ホームページをリニューアルいたします。

新しいホームページでは以下の項目を充実させます。

- ◎ 経営指標の推移(グラフ)
- ◎ 経営計画(中長期計画)
- ◎ 各種イベント(セミナー情報・各種協賛など)
- ◎ JMSの特徴・強み(ブランディング コンテンツなど)

### 《ブランディング コンテンツ》

感染・医療事故の  
防止

独自技術で、  
安全な医療環境づくりに貢献

患者様  
第一主義

医療の効率化と  
QOL向上

総合医療機器メーカー  
ならではのノウハウを  
注入

研究開発

独自製品・技術の開発、  
QOL向上を目指す  
研究・開発



また、皆様が当社ホームページをより便利にお使いいただけるよう工夫しております。今後とも当社ホームページをどうぞよろしくお願いいたします。

▶▶▶ <http://www.jms.cc/> 株式会社JMS 検索

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計 年度末	当第2四半期 連結会計期間
	平成24年3月31日現在	平成24年9月30日現在
《資産の部》		
流動資産 —①	28,564	29,439
現金及び預金	3,474	4,811
受取手形及び売掛金	14,991	13,963
たな卸資産	9,224	9,738
その他	874	926
固定資産 —②	16,865	17,542
有形固定資産	13,076	13,913
無形固定資産	708	708
投資その他の資産	3,080	2,920
資産合計	45,430	46,982

(単位:百万円)

科目	前連結会計 年度末	当第2四半期 連結会計期間
	平成24年3月31日現在	平成24年9月30日現在
《負債の部》		
流動負債 —③	16,466	17,333
固定負債 —④	3,779	4,276
負債合計	20,245	21,609
《純資産の部》		
株主資本	27,481	28,018
その他の包括利益累計額	△2,353	△2,708
少数株主持分	56	62
純資産合計 —⑤	25,184	25,372
負債純資産合計	45,430	46,982

POINT 解説

① 流動資産 [前連結会計年度末に比べ  
8億74百万円増加]

・現金及び預金が増加しました。

② 固定資産 [前連結会計年度末に比べ  
6億76百万円増加]

・有形固定資産の取得により増加しました。

③ 流動負債 [前連結会計年度末に比べ  
8億67百万円増加]

・短期借入が増加しました。

④ 固定負債 [前連結会計年度末に比べ  
4億96百万円増加]

・長期借入が増加しました。

⑤ 純資産 [前連結会計年度末に比べ  
1億88百万円増加]

・四半期純利益の計上により増加しました。

## ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
売上高 <b>6</b>	22,438	23,946
売上原価	16,250	17,092
売上総利益	6,187	6,853
販売費及び一般管理費	5,772	5,859
営業利益 <b>7</b>	414	994
営業外収益	236	262
営業外費用	66	70
経常利益	584	1,185
特別利益	3	1
特別損失	65	66
税金等調整前四半期純利益	522	1,120
法人税等	231	402
少数株主損益調整前四半期純利益	290	717
少数株主利益	4	7
四半期純利益	286	709

### ▶▶▶ POINT 解説

#### 6 売上高

〔前年同四半期に比べ〕  
15億8百万円増加

・国内及び北米、中国向けの販売が好調に推移しました。

#### 7 営業利益

〔前年同四半期に比べ〕  
579百万円増加

・増収による利益増加が人件費などの固定費を吸収しました。  
・在外子会社において為替が有利に作用しました。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,263	1,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	△1,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	849	1,128
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 188	△ 109
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	749	1,340
現金及び現金同等物の期首残高	4,820	3,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,570	4,809

### ▶▶▶ POINT 解説

#### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

〔前年同四半期に比べ〕  
6億11百万円増加

・税金等調整前四半期純利益の増加によるものです。

#### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

〔前年同四半期に比べ〕  
3億78百万円増加

・有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものです。

#### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

〔前年同四半期に比べ〕  
2億78百万円増加

・借入金の収支差額によるものです。

■ 当社の概要

設立 昭和40年6月12日  
 資本金 6,522,219,945円  
 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部(証券コード:7702)  
 主要な事業内容 医療機器、医薬品の製造・販売及び  
 輸出並びに輸入  
 従業員数 1,581人(グループ総数 4,808人)

■ 役員

代表取締役社長	奥 窪 宏 章	執行役員	内 藤 雅 之
専務取締役	村 上 克 宏	執行役員	藤 井 彰 一
取締役相談役	谷 光 大	執行役員	土 井 博 之
取締役	国 富 純	執行役員	中 西 義 夫
取締役	泉 和 雄	執行役員	岩 田 実 夫
取締役	森 川 重 美	執行役員	近 藤 良 夫
取締役	粟 根 康 浩	執行役員	遠 藤 正 樹
取締役	鈴 木 俊 弘	執行役員	佐 藤 雅 文
監査役(常勤)	林 原 康 三	執行役員	桂 龍 司
監査役	早 稲 田 幸 雄		
監査役	池 村 和 朗		

※鈴木俊弘氏は、社外取締役であります。  
 ※林原康三氏、早稲田幸雄氏、池村和朗氏は、社外監査役であります。

株式概要

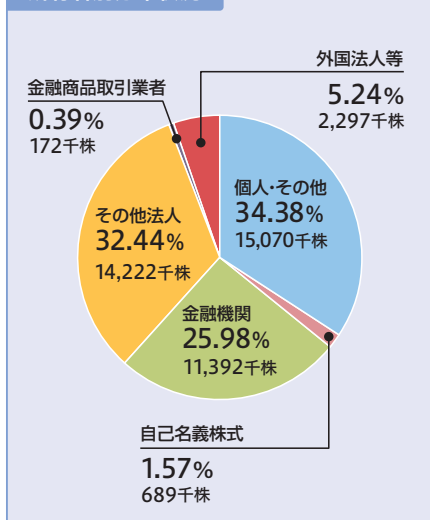
- 発行可能株式総数… 100,000,000株
- 発行済株式総数… 43,844,932株  
 (自己株式 689,452株を含む)
- 株主数… 4,656名

■ 大株主の状況(上位10名)

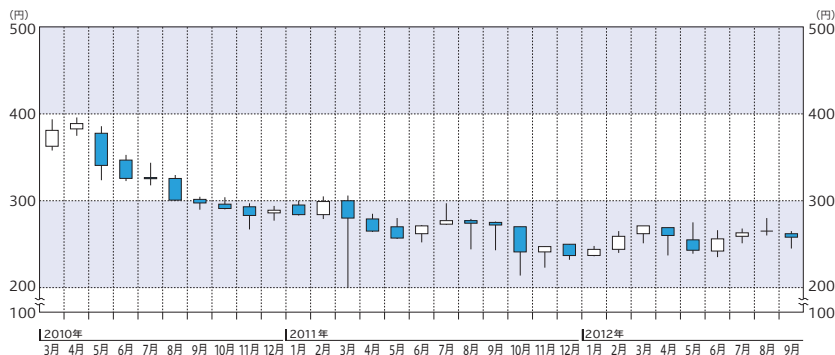
(注)持株比率は、自己株式(689,452株)を控除して計算しております。

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社カネカ	4,385	10.16
財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	8.81
土谷佐枝子	2,015	4.67
社会福祉法人千寿会	2,000	4.63
株式会社広島銀行	1,790	4.15
第一生命保険株式会社	1,722	3.99
大下産業株式会社	1,102	2.55
JMS共栄会	841	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	826	1.91
西川ゴム工業株式会社	760	1.76

所有者別分布状況



■ 株価推移



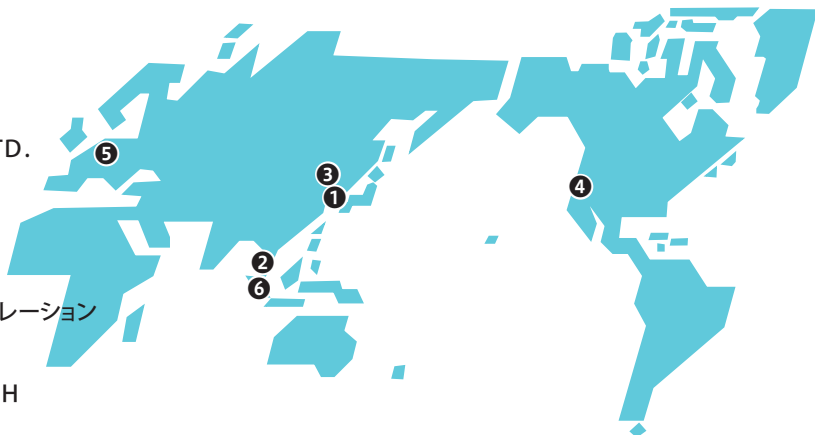
## 海外ネットワーク

世界数十カ国に製品を販売し、各国で高い評価を受けています。

また、韓国・シンガポール・中国・インドネシアに海外生産拠点を設置し、技術・人材レベルの交流のなか、医療による国際貢献を図っています。

### 子会社

- ① 株式会社 韓国メディカル・サプライ  
医療機器の製造・販売
- ② ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD.  
医療機器・医薬品の製造・販売  
<http://www.jmss.com.sg/>
- ③ 大連ジェイ・エム・エス医療器具 有限公司  
医療機器の製造・販売  
<http://www.jmsdl.com/>
- ④ ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション  
医療機器の販売  
<http://www.jmsna.net/>
- ⑤ バイオニック・メディツインテックGmbH  
医療機器・医薬品の販売  
<http://www.bionic-jms.com/>
- ⑥ PT. ジェイ・エム・エス・バタム  
医療機器の製造



## 国内ネットワーク

地域の医療現場に密着し、

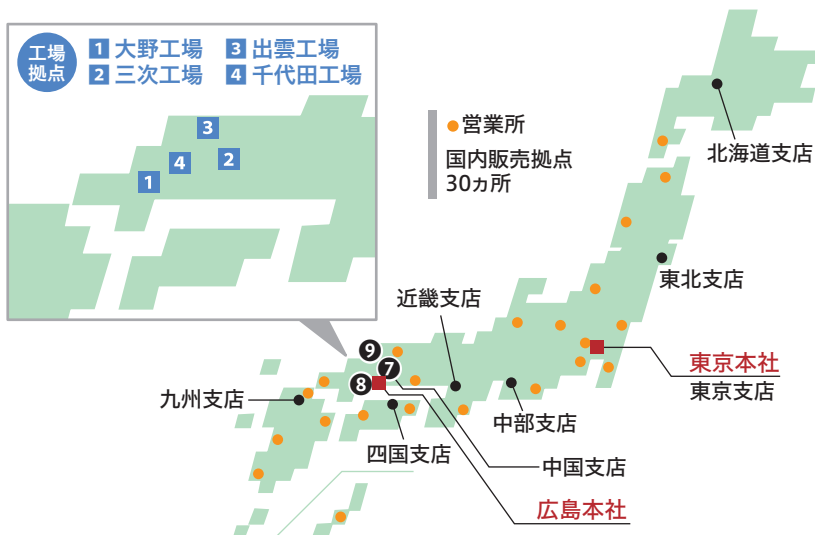
きめ細やかなサービスを提供するために  
事業所間のネットワークをオンラインで結び、  
効率的な運営を推進しています。

### 子会社

- ⑦ ジェイ・エム・エス・サービス 株式会社  
医療機器の修理等
- ⑧ 株式会社 大野  
業務請負業

### 関連会社

- ⑨ 株式会社 ジェイ・オー・ファーマ  
医薬品の製造・販売  
<http://www.jo-pharma.co.jp/>



## 株主メモ 証券コード: 7702

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel.0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告とする。 ( <a href="http://www.jms.cc/ir/denshi.html">http://www.jms.cc/ir/denshi.html</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

### ご注意

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 JMS

広島本社

〒730-8652 広島市中区加古町12番17号  
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル  
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

ホームページ

<http://www.jms.cc/>

【表紙デザイン】



テーマ「扉を開き新たな世界へ。」

開かれた扉から活動的に飛び出そうとする人々をモチーフに、アグレッシブに世界へチャレンジしようとする精神を表現。

街並みをモチーフに取り入れる事で、人々の暮らしを大切に思うJMSの気持ちもイメージしています。